

平成30年度の一般会計の歳入は57億9,597万円でした。その内訳は、国や県などに頼った依存財源が70.4%、町税などの自主財源が29.6%となっています。昨年度と比較すると、自主財源が1.2%増、依存財源が1.8%増となっており、全体に占める依存財源の割合がやや増加しています。この依存財源増は、県支出金・町債などが増加したことが主な要因です。

**〔平成30年度決算概要〕**  
 平成30年度一般会計と特別会計の決算が9月定例議会で認定されました。今月号では、桂川町の平成30年度決算概要を公表します。  
 一般会計は歳入・歳出ともに前年度より増額となり、歳入は前年度に比べて9094万円増の57億9597万円、歳出は1億124万円増の55億8586万円となりました。  
 自治体財政の健全化を示す「健全化判断比率」と「資金不足比率」は、早期健全化基準および経営健全化基準を大きく下回っており、桂川町は財政の健全性を保っています。  
 より詳しい情報は、桂川町ホームページをご覧ください。お問い合わせください。

平成30年度の町の財政状況をチェック!

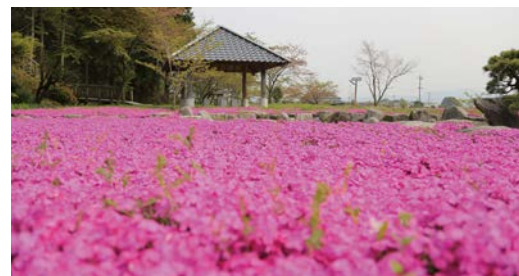
# 決算

【問合先】企画財政課 財政係  
 ☎65・1085

## 健全化判断比率 資金不足比率

健全化判断比率項目	桂川町	早期健全化基準 経営健全化基準	財政再生基準
実質赤字比率	算定されず	15.00%	20.00%
連結実質赤字比率	算定されず	20.00%	30.00%
実質公債費比率	3.9%	25.0%	35.0%
将来負担比率	算定されず	350.0%	—
資金不足比率	算定されず	20.00%	—

※赤字額や資金不足額が生じていない項目は「算定されず」と表記



- ◇実質赤字比率…一般会計等の実質赤字の比率
- ◇連結実質赤字比率…一般会計のほか特別会計などすべての会計の実質赤字の比率
- ◇実質公債費比率…公債費等の比重を示す比率
- ◇将来負担比率…地方債残高のほか一般会計等が将来負担すべき実質的な負債を捉えた比率
- ◇資金不足比率…公営企業の資金不足の比率